

第20回高知県木の文化賞

木造建築物及び木造建造物の部

萩野家住宅
(主屋・離れ・水廻り棟)

所在地: 安芸市

- 発注者: 株式会社 山のくじら舎
- 設計者: 桑名平建築研究所
- 施工者: 渡邊建築



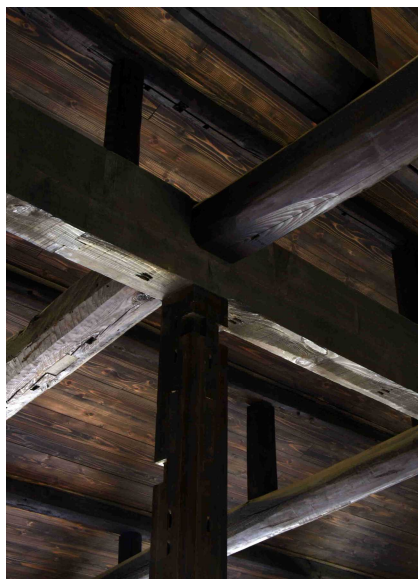
木の文化県
こうち



写真: 西森秀一

高知県

施設の概要



■完成時期: 令和4年2月

当住宅は「重要伝統的建造物群保存地区」である安芸市土居廓中にあった空き家を改築して建てられた住宅です。

設計・工事ではできるだけ既存の部材を残し、活かしています。各部の納まり(瓦屋根部分等)は当時の工法で施工されており、黒色塗料を用いることで新旧の部材の調和を図るという工夫もされています。

また、大工・左官・瓦などの主要な工事をはじめ、安芸の職人さんが全ての施工をすることで、伝統の技術を後世に受け継ぐことにも寄与しています。

近年は土居廓中でも取り壊される家がある中、地域の建築の姿を残し、活用することで木の文化を含め地域の風景や記憶を未来に伝える建築となっています。

選 評

・「重要伝統的建造物群保存地区」の制限・規制がある中、元々建物が持っているポテンシャルを活かして快適な空間をつくった点が評価できる。

・周囲の建物や昔のデザインを参考に、周りの風景と調和し地域と共に生きる建築にした点が評価できる。



写真: 西森秀一